

牛若丸





冷たい雪の降る中を、
まだ赤ん坊の牛若丸が、
お母さんの懐に抱かれて
京の都から、逃げていきます。
源氏の大將だったお父さんが、
平家との戦に
敗れてしまったのです。

戦

懐
抱かれる



牛若丸は、平家の言いつけで、

お母さんから離され、

七歳になると、鞍馬山のお寺に

預けられることになりました。

「お母さま、お体を大切に。」

「牛若丸も、元気ですのですよ。」

鞍馬山
くらまやま